

令和3年度

食物アレルギー対応実施状況調査結果
～学校における状況(学校生活管理指導表)～

埼玉県教育局県立学校部保健体育課

1 調査の目的

この調査は、公立学校における食物アレルギーの状況、並びに学校給食における食物アレルギー対応の現状を明らかにし、今後の対応の推進のための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査対象

調査対象は、埼玉県内の公立学校（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）を対象とした。

3 調査時期

令和3年5月1日現在とした。

4 集計客体数（令和3年5月1日現在）

校 種	学校数 (校)	対象人数(人)
小学校	805	360,530
中学校(義務教育学校・中等教育学校舎)	413	177,551
高等学校(夜間定時制)*1*2	22	2,412
高等学校(給食未実施)*1*2	136	103,441
特別支援学校(給食実施)	38	7,259
特別支援学校(給食未実施)	7	551
合 計	1,421	651,744

*1 学校数：全定併置、昼夜二部制などの学校は重複のため、延数。

*2 対象人数：専攻科も含む。

5 調査結果

(1) 食物アレルギーのある児童生徒数

食物アレルギーのある児童生徒は、40,028人、対象児童生徒の6.1%であり、ほぼすべての学校に在籍している。

また、食物アレルギーのある児童生徒の割合は、校種によって大きな差はない。

校 種	学校数(校)	割合(%)	児童生徒数(人)	割合(%)
小学校	798	99.1	21,635	6.0
中学校	409	99.0	11,419	6.4
高等学校(夜間定時制)	20	90.9	161	6.7
高等学校(給食未実施)	132	97.1	6,388	6.2
特別支援学校(給食実施)	38	100.0	390	5.4
特別支援学校(給食未実施)	5	71.4	35	6.4
合 計	1,402	98.7	40,028	6.1

(2) 学校生活管理指導表を提出している児童生徒数

学校生活管理指導表を提出している児童生徒は、13,081人、食物アレルギーのある児童生徒数の32.7%であった。

また、学校生活管理指導表を提出している児童生徒の割合は、校種によって差があり、特別支援学校(給食実施)、小学校の順に高かった。

校 種	食物アレルギーのある児童生徒数(人)	学校生活管理指導表を提出している児童生徒数	割合(%)
小学校	21,635	9,236	42.7
中学校	11,419	2,905	25.4
高等学校(夜間定時制)	161	23	14.3
高等学校(給食未実施)	6,388	605	9.5
特別支援学校(給食実施)	390	304	77.9
特別支援学校(給食未実施)	35	8	22.9
合 計	40,028	13,081	32.7

* 割合は、食物アレルギーのある児童生徒数を母数とした。

(3) 学校生活管理指導表に記載されている病型

(複数回答)

管理指導表提出数	小学校		中学校		高校		特別支援学校	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
	9,236		2,905		628		312	
A1 即時型	7,670	83.0	2,134	73.5	412	65.6	241	77.2
A2 口腔アレルギー症候群	1,633	17.7	861	29.6	163	26.0	47	15.1
A3 食物依存性運動誘発性アナフィラキシー	108	1.2	99	3.4	49	7.8	1	0.3

(4) 学校生活管理指導表に記載されている原因食物

小学校では、鶏卵、木の実類、果物類の順に、中学校、高等学校では果物類、ピーナッツ、鶏卵の順、特別支援学校では、鶏卵、ピーナッツ、果物類の順に多い。

(複数回答)

管理指導表提出数	小学校		中学校		高校		特別支援学校	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
	9,236		2,905		628		312	
1 鶏卵	2,935	31.8	717	24.7	126	20.1	115	36.9
2 牛乳・乳製品	1,785	19.3	455	15.7	74	11.8	63	20.2
3 小麦	442	4.8	150	5.2	64	10.2	27	8.7
4 ソバ	951	10.3	366	12.6	116	18.5	56	17.9
5 ピーナッツ	2,538	27.5	796	27.4	186	29.6	98	31.4
6 甲殻類	1,303	14.1	596	20.5	120	19.1	58	18.6
7 木の実類	2,654	28.7	615	21.2	114	18.2	60	19.2
8 果物類	2,101	22.7	1,033	35.6	236	37.6	70	22.4
9 魚類	765	8.3	291	10.0	54	8.6	20	6.4
10 肉類	74	0.8	32	1.1	12	1.9	10	3.2
11 軟体類・貝類	442	4.8	216	7.4	39	6.2	9	2.9
12 魚卵	926	10.0	192	6.6	25	4.0	24	7.7
13 ゴマ	290	3.1	86	3.0	28	4.5	19	6.1
14 大豆	167	1.8	79	2.7	20	3.2	12	3.8
15 やまいも類	267	2.9	103	3.5	21	3.3	13	4.2
16 その他	694	7.5	367	12.6	66	10.5	29	9.3

* 16 その他：里芋、トマト、なす、きゅうり、ほうれん草、筍、生野菜、アボカド、もやし、キムチ、とうもろこし、きのこ、米、もち米、大麦、ライ麦、チョコレート、カカオ、シナモン、カレー、じゃがいも、食品添加物、エリスリトール、はちみつ、など

* 学校種別 児童生徒の原因食物（割合の多い食物）

小学校		中学校		高校		特別支援学校	
鶏卵	31.8%	果物類	35.6%	果物類	37.6%	鶏卵	36.9%
木の実類	28.7%	ピーナッツ	27.4%	ピーナッツ	29.6%	ピーナッツ	31.4%
果物類	22.7%	鶏卵	24.7%	鶏卵	20.1%	果物類	22.4%

(5) 緊急時に備えた処方薬

(複数回答)

	小学校		中学校		高校		特別支援学校	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
管理指導表提出数	9,236		2,905		628		312	
1 内服薬	4,678	50.6	1,400	48.2	262	41.7	116	37.2
2 エピペン	1,838	19.9	606	20.9	215	34.2	47	15.1
3 その他	302	3.3	77	2.7	9	1.4	6	1.9
4 記載なし	2,418	26.2	823	28.3	142	22.6	143	45.8

(6) 緊急時連絡先

	小学校		中学校		高校		特別支援学校	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
管理指導表提出数	9,236		2,905		628		312	
1 病院	4,188	45.3	1,223	42.1	213	33.9	146	46.8
2 診療所	2,708	29.3	869	29.9	189	30.1	76	24.4
3 記載なし	2,282	24.7	797	27.4	226	36.0	90	28.8
4 未回答	58	0.6	16	0.6	0	0.0	0	0.0

(7) 診断医療機関

	小学校		中学校		高校		特別支援学校	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
管理指導表提出数	9,236		2,905		628		312	
1 病院	4,636	50.2	1,368	47.1	220	35.0	171	54.8
2 診療所	4,596	49.8	1,533	52.8	332	52.9	138	44.2
3 記載なし	4	0.0	4	0.1	76	12.1	3	1.0

6 過去2回（平成27、30年度）調査との比較

(1) 食物アレルギーのある児童生徒数

	平成27年度			平成30年度			令和3年度		
	調査対象児童生徒数	アレルギーのある児童生徒数	割合	調査対象児童生徒数	アレルギーのある児童生徒数	割合	調査対象児童生徒数	アレルギーのある児童生徒数	割合
小学校	373,216	18,324	4.9%	367,996	20,545	5.6%	360,530	21,635	6.0%
中学校	184,453	9,451	5.1%	177,291	10,605	6.0%	177,551	11,419	6.4%
合計	557,669	27,775	5.0%	545,287	31,150	5.7%	538,081	33,054	6.1%

(2) アドレナリン自己注射薬（エピペン®）を学校に持参している児童生徒数

	平成27年度			平成30年度			令和3年度		
	アレルギーのある児童生徒数	エピペンのある児童生徒数	割合	アレルギーのある児童生徒数	エピペンのある児童生徒数	割合	アレルギーのある児童生徒数	エピペンのある児童生徒数	割合
小学校	18,324	870	4.7%	20,545	1,475	7.2%	21,635	1,946	9.0%
中学校	9,451	314	3.3%	10,605	462	4.4%	11,419	651	5.7%
合計	27,775	1,184	4.2%	31,150	1,937	6.2%	33,054	2,597	7.9%

(3) 学校給食で食物アレルギー対応を行っている児童生徒数

	平成27年度			平成30年度			令和3年度		
	アレルギーのある児童生徒数	対応している児童生徒数	割合	アレルギーのある児童生徒数	対応している児童生徒数	割合	アレルギーのある児童生徒数	対応している児童生徒数	割合
小学校	18,324	7,797	42.6%	20,545	8,608	41.9%	21,635	9,241	42.7%
中学校	9,451	2,454	26.0%	10,605	2,663	25.1%	11,419	2,951	25.8%
合計	27,775	10,251	36.9%	31,150	11,271	36.2%	33,054	12,192	36.9%

(4) 学校給食で食物アレルギー対応を行っている児童生徒の学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）の提出状況

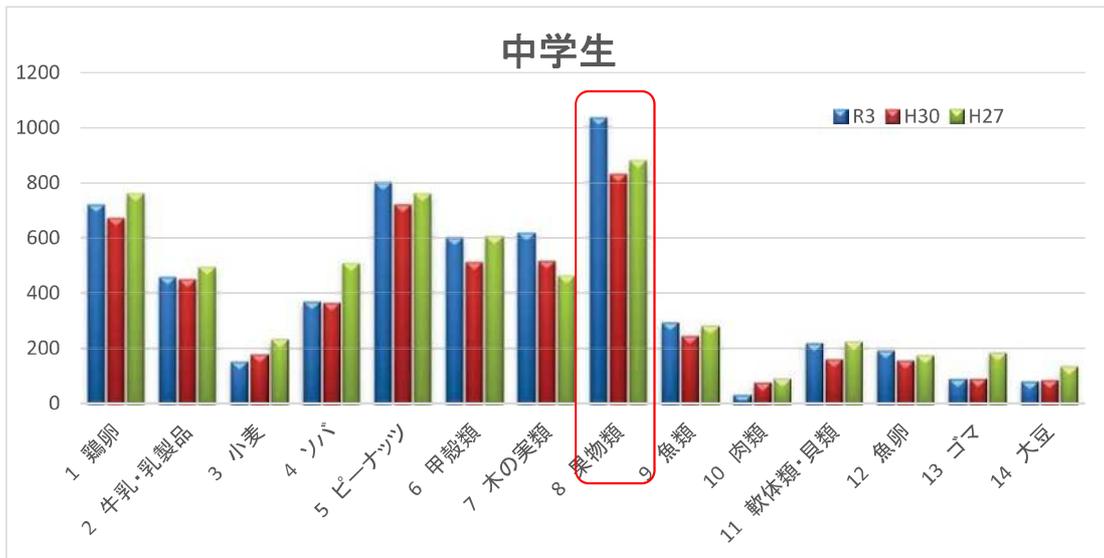
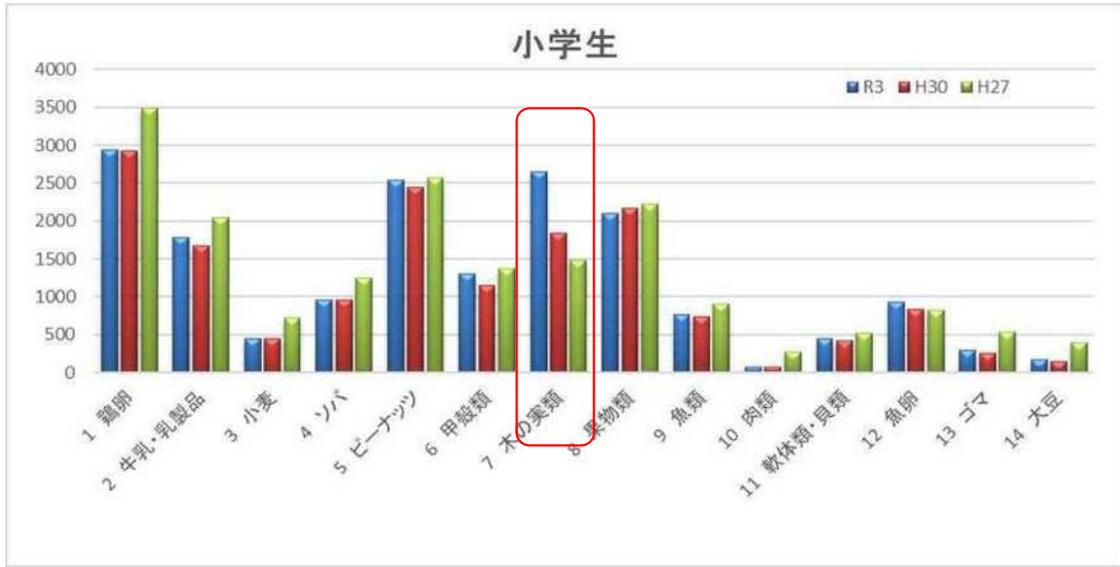
	平成27年度			平成30年度			令和3年度		
	対応している児童生徒数	管理指導表提出数	割合	対応している児童生徒数	管理指導表提出数	割合	対応している児童生徒数	管理指導表提出数	割合
小学校	7,797	6,801	87.2%	8,608	8,105	94.2%	9,241	8,867	96.0%
中学校	2,454	1,946	79.3%	2,663	2,383	89.5%	2,951	2,762	93.6%
合計	10,251	8,747	85.3%	11,271	10,488	93.1%	12,192	11,629	95.4%

(5) 学校生活管理指導表に記載されている原因食物

管理指導表の提出数は年々増加しているが、個々の原因食物については、平成27年度から平成30年度にかけて減少していた。特に、鶏卵で顕著に減っている。

しかし、平成30年度から令和3年度にかけては、全体的にやや増加傾向である。特に、小学校で木の実類、中学校で果物類が顕著に増加している。

	小学校						中学校					
	令和3年5月		平成30年5月		平成27年9月		令和3年5月		平成30年5月		平成27年9月	
管理指導表提出数	9,236		8,545		7,015		2,905		2,572		2,100	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
1 鶏卵	2,935	31.8	2,922	34.2	3,489	49.7	717	24.7	669	26.0	758	36.1
2 牛乳・乳製品	1,785	19.3	1,668	19.5	2,039	29.1	455	15.7	448	17.4	493	23.5
3 小麦	442	4.8	447	5.2	717	10.2	150	5.2	177	6.9	230	11.0
4 ソバ	951	10.3	963	11.3	1,247	17.8	366	12.6	362	14.1	506	24.1
5 ピーナッツ	2,538	27.5	2,445	28.6	2,567	36.6	796	27.4	719	28.0	756	36.0
6 甲殻類	1,303	14.1	1,146	13.4	1,372	19.6	596	20.5	511	19.9	601	28.6
7 木の実類	2,654	28.7	1,833	21.5	1,485	21.2	615	21.2	512	19.9	460	21.9
8 果物類	2,101	22.7	2,171	25.4	2,228	31.8	1,033	35.6	829	32.2	875	41.7
9 魚類	765	8.3	734	8.6	905	12.9	291	10.0	244	9.5	277	13.2
10 肉類	74	0.8	73	0.9	275	3.9	32	1.1	75	2.9	90	4.3
11 軟体類・貝類	442	4.8	417	4.9	521	7.4	216	7.4	159	6.2	220	10.5
12 魚卵	926	10.0	827	9.7	820	11.7	192	6.6	153	5.9	171	8.1
13 ゴマ	290	3.1	262	3.1	525	7.5	86	3.0	90	3.5	183	8.7
14 大豆	167	1.8	150	1.8	396	5.6	79	2.7	85	3.3	133	6.3
15 やまいも類	267	2.9	841	9.8	— (項目設定なし)	103	3.5	329	12.8	— (項目設定なし)		
16 その他	694	7.5				367	12.6					



(6) 学校生活管理指導表に記載されている原因食物の除去根拠

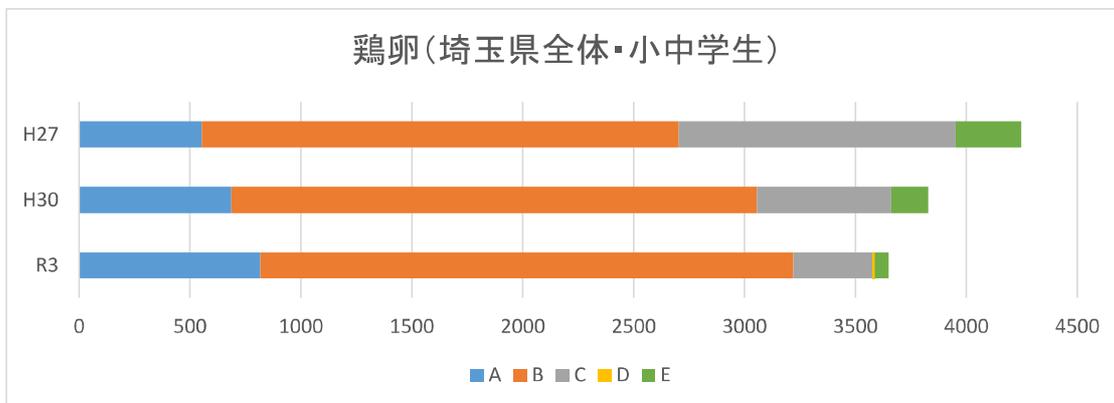
除去根拠を以下の5つのグループに分け、主要な原因食物の除去根拠の経年変化を確認した。いずれも検査結果陽性のみでの除去根拠は年々減少している。

<除去根拠>

- A 食物経口負荷試験陽性を含む
- B 症状の既往を含む
- C IgE抗体等検査結果陽性のみ
- D 未摂取
- E 記載なし

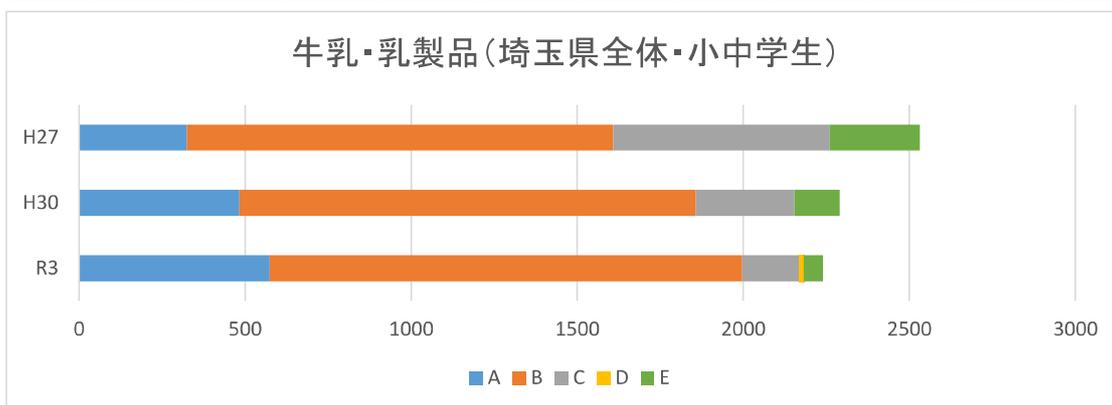
●鶏卵（埼玉県全体・小中学生）

	A (食物経口負荷試験陽性を含む)		B (症状の既往を含む)		C (IgE抗体等検査結果陽性のみ)		D (未摂取)		E (記載なし)		合計 人数
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	
H27	553	13.0	2,151	50.6	1,248	29.4	0	0.0	295	6.9	4,247
H30	687	17.9	2,370	61.9	606	15.8	0	0.0	165	4.3	3,828
R3	817	22.4	2,404	65.8	359	9.8	9	0.2	63	1.7	3,652



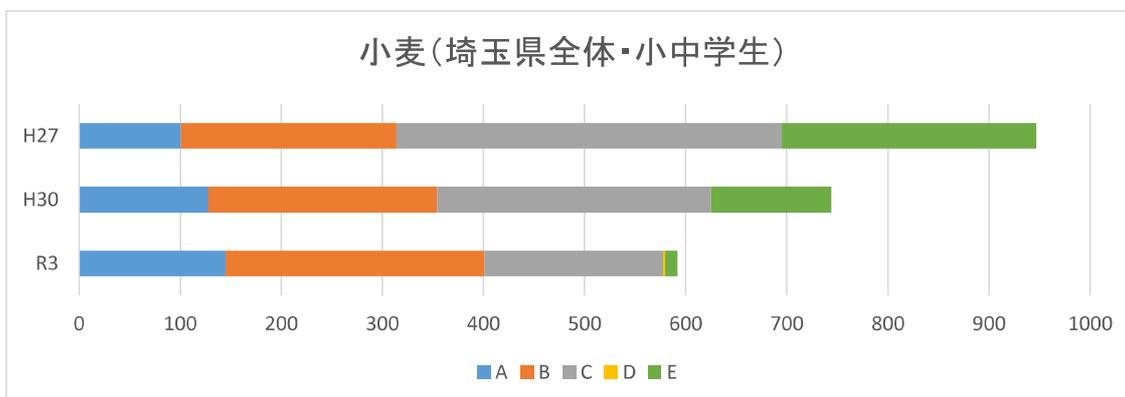
●牛乳・乳製品（埼玉県全体・小中学生）

	A (食物経口負荷試験陽性を含む)		B (症状の既往を含む)		C (IgE抗体等検査結果陽性のみ)		D (未摂取)		E (記載なし)		合計 人数
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	
H27	324	12.8	1,284	50.7	652	25.8	0	0.0	272	10.7	2,532
H30	483	21.1	1,374	60.0	297	13.0	0	0.0	137	6.0	2,291
R3	574	25.6	1,423	63.5	172	7.7	13	0.6	58	2.6	2,240



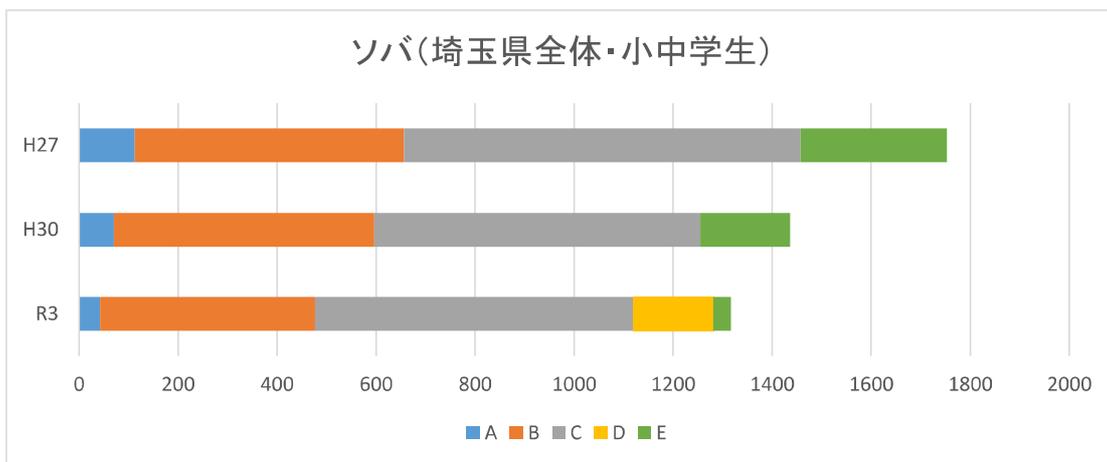
●小麦（埼玉県全体・小中学生）

	A (食物経口負荷試験陽性を含む)		B (症状の既往を含む)		C (IgE抗体等検査結果陽性のみ)		D (未摂取)		E (記載なし)		合計 人数
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	
H27	101	10.7	213	22.5	381	40.2	0	0.0	252	26.6	947
H30	128	17.2	226	30.4	271	36.4	0	0.0	119	16.0	744
R3	145	24.5	256	43.2	177	29.9	2	0.3	12	2.0	592



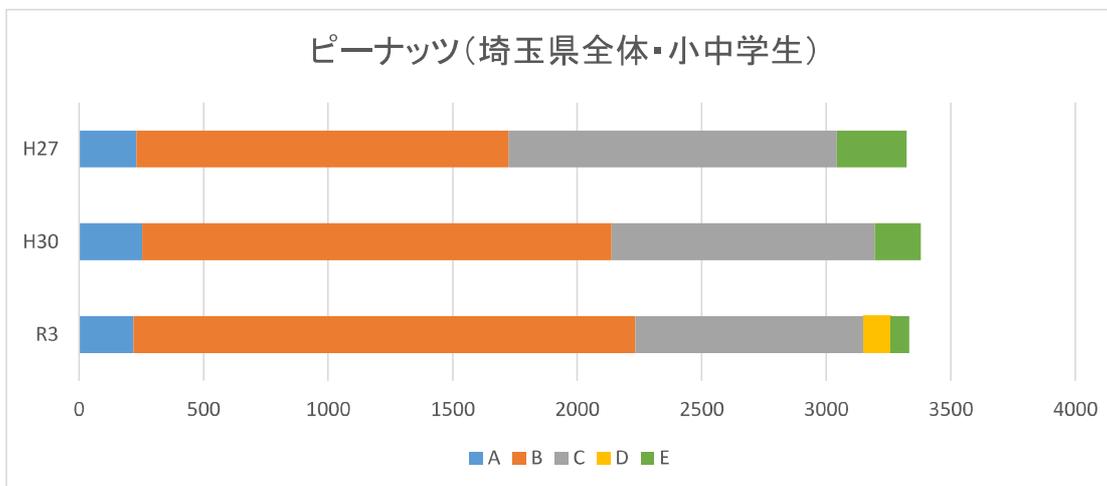
●ソバ（埼玉県全体・小中学生）

	A (食物経口負荷試験陽性を含む)		B (症状の既往を含む)		C (IgE抗体等検査結果陽性のみ)		D (未摂取)		E (記載なし)		合計 人数
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	
H27	113	6.4	543	31.0	801	45.7	0	0.0	296	16.9	1,753
H30	70	4.9	526	36.6	659	45.9	0	0.0	181	12.6	1,436
R3	42	3.2	435	33.0	642	48.7	162	12.3	36	2.7	1,317



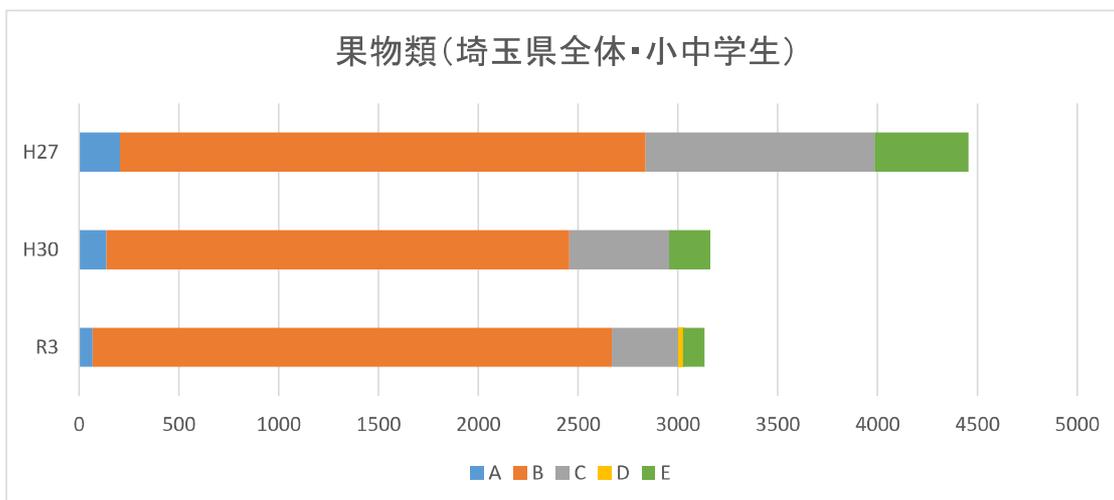
●ピーナッツ（埼玉県全体・小中学生）

	A (食物経口負荷試験陽性を含む)		B (症状の既往を含む)		C (IgE抗体等検査結果陽性のみ)		D (未摂取)		E (記載なし)		合計 人数
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	
H27	230	6.9	1,494	45.0	1,318	39.7	0	0.0	281	8.5	3,323
H30	254	7.5	1,884	55.7	1,057	31.3	0	0.0	185	5.5	3,380
R3	218	6.5	2,016	60.5	919	27.6	106	3.2	75	2.2	3,334



●果物類（埼玉県全体・小中学生）

	A (食物経口負荷試験陽性を含む)		B (症状の既往を含む)		C (IgE抗体等検査結果陽性のみ)		D (未摂取)		E (記載なし)		合計 人数
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	
H27	204	4.6	2,634	59.1	1,148	25.8	0	0.0	470	10.5	4,456
H30	137	4.3	2,320	73.3	498	15.7	0	0.0	208	6.6	3,163
R3	67	2.1	2,603	83.1	335	10.7	21	0.7	108	3.4	3,134

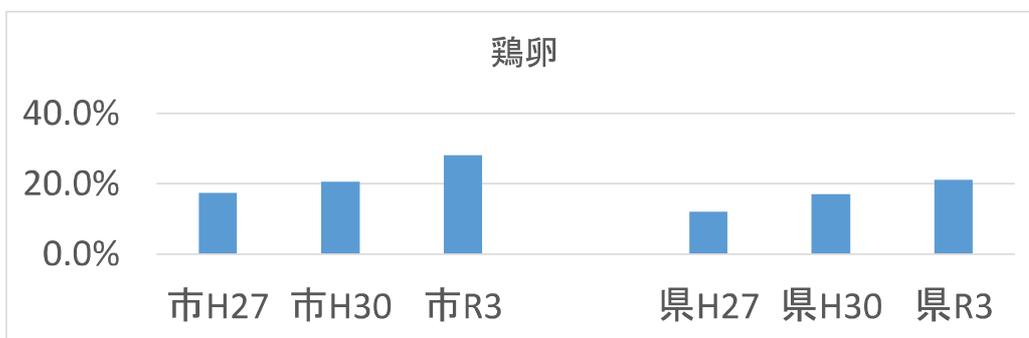


(7) 除去根拠に食物負荷試験を含む割合

さいたま市を除く埼玉県全体と、さいたま市を比較した場合、ともに鶏卵、牛乳・乳製品、小麦については年々、食物負荷試験を含む割合は増えている。増加の伸びはさいたま市の方が顕著であった。

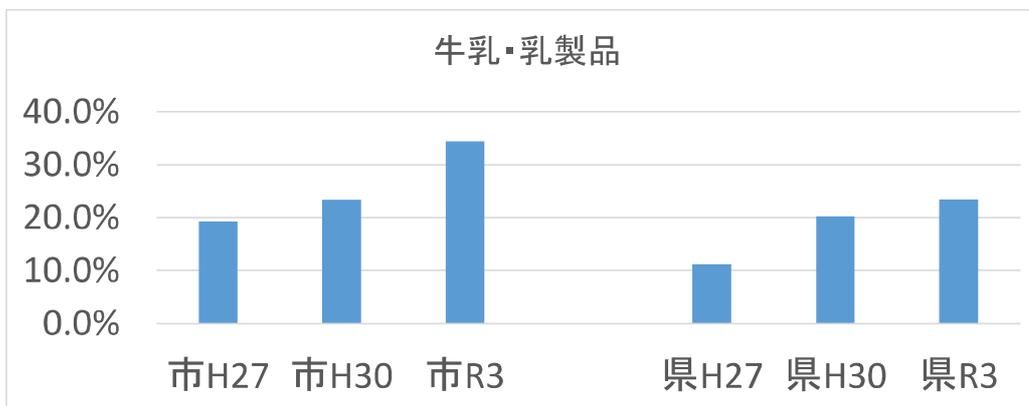
●鶏卵（除去根拠に食物負荷試験を含む割合：小中学生合計）

	さいたま市	埼玉県 (さいたま市除く)
H27	17.4%	12.0%
H30	20.6%	17.1%
R3	28.1%	21.2%



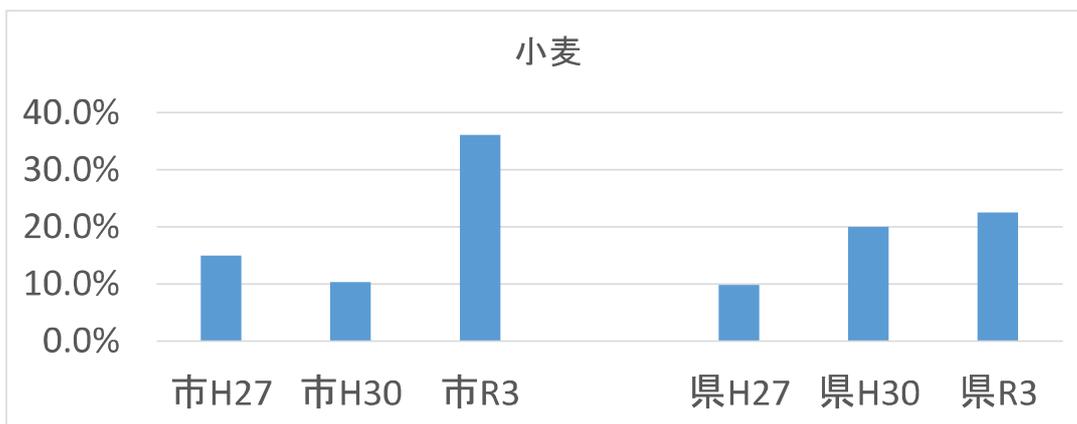
●牛乳・乳製品（除去根拠に食物負荷試験を含む割合：小中学生合計）

	さいたま市	埼玉県 (さいたま市除く)
H27	19.3%	11.2%
H30	23.4%	20.2%
R3	34.4%	23.5%



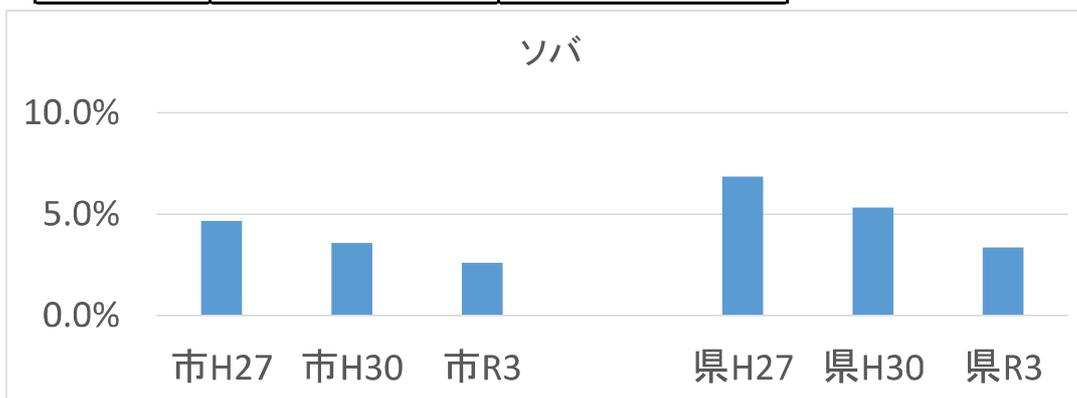
●小麦（除去根拠に食物負荷試験を含む割合：小中学生合計）

	さいたま市	埼玉県 (さいたま市除く)
H27	14.9%	9.8%
H30	10.3%	20.0%
R3	36.0%	22.5%



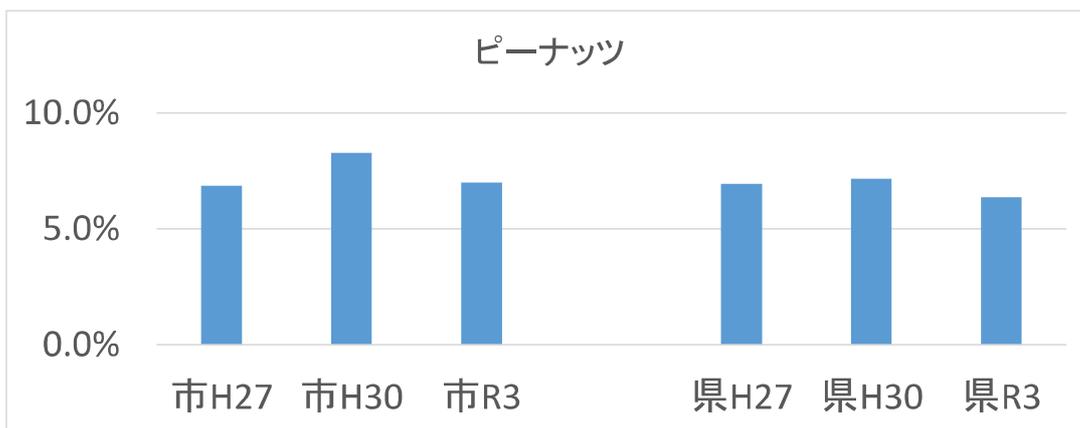
●ソバ（除去根拠に食物負荷試験を含む割合：小中学生合計）

	さいたま市	埼玉県 (さいたま市除く)
H27	4.7%	6.8%
H30	3.6%	5.3%
R3	2.6%	3.3%



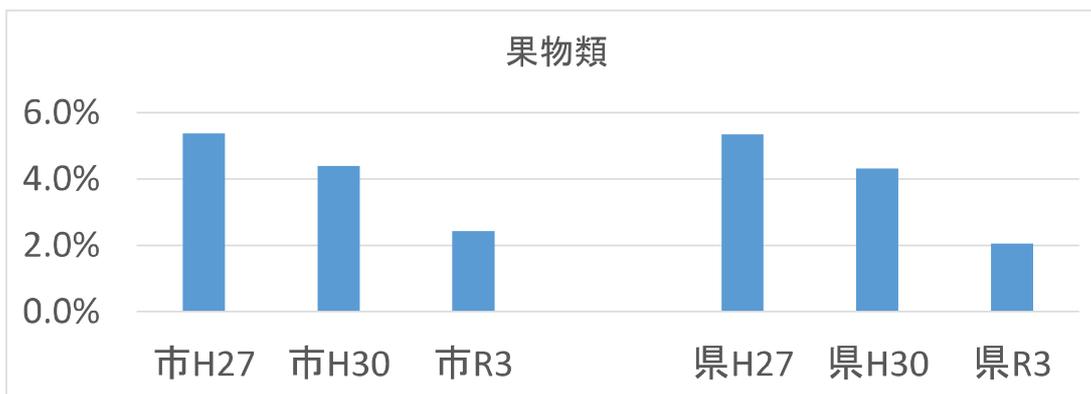
●ピーナッツ（除去根拠に食物負荷試験を含む割合：小中学生合計）

	さいたま市	埼玉県 (さいたま市除く)
H27	6.8%	6.9%
H30	8.3%	7.2%
R3	7.0%	6.4%



●果物類（除去根拠に食物負荷試験を含む割合：小中学生合計）

	さいたま市	埼玉県 (さいたま市除く)
H27	5.4%	5.3%
H30	4.4%	4.3%
R3	2.4%	2.0%

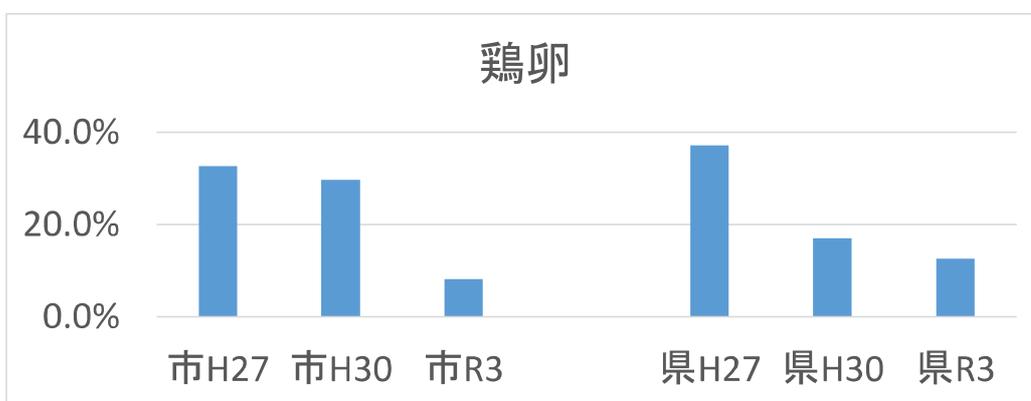


(7) 除去根拠に食物負荷試験や症状の既往を含まない割合（根拠C、D、E）

さいたま市を除く埼玉県全体とさいたま市ともに、年々、明確な根拠なしに対応を求められる割合は減少している。

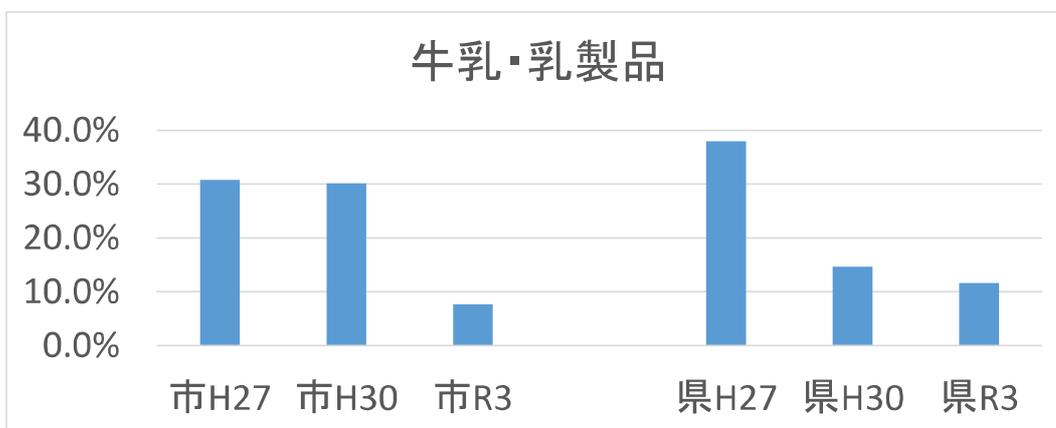
●鶏卵（除去根拠に食物負荷試験や症状の既往を含まない割合：小中学生合計）

	さいたま市	埼玉県 (さいたま市除く)
H27	32.7%	37.2%
H30	29.8%	17.1%
R3	8.1%	12.6%



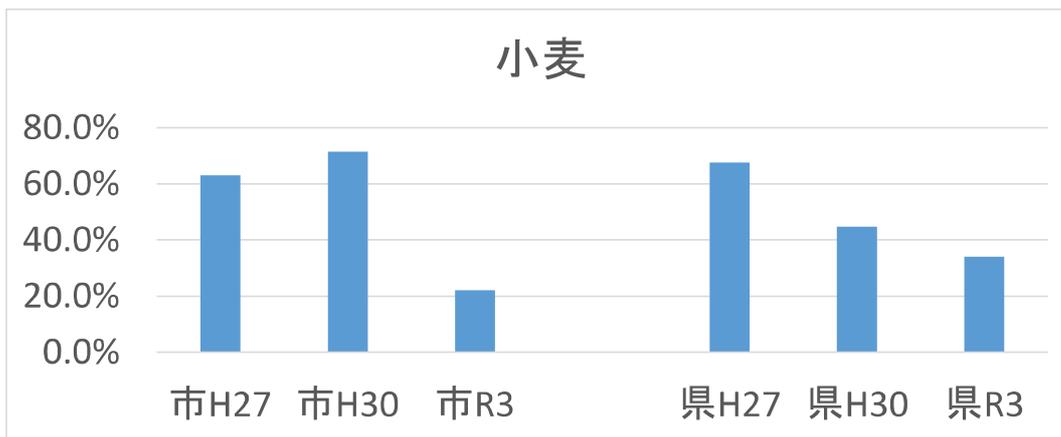
●牛乳・乳製品（除去根拠に食物負荷試験や症状の既往を含まない割合：小中学生合計）

	さいたま市	埼玉県 (さいたま市除く)
H27	30.7%	37.9%
H30	30.1%	14.6%
R3	7.6%	11.6%



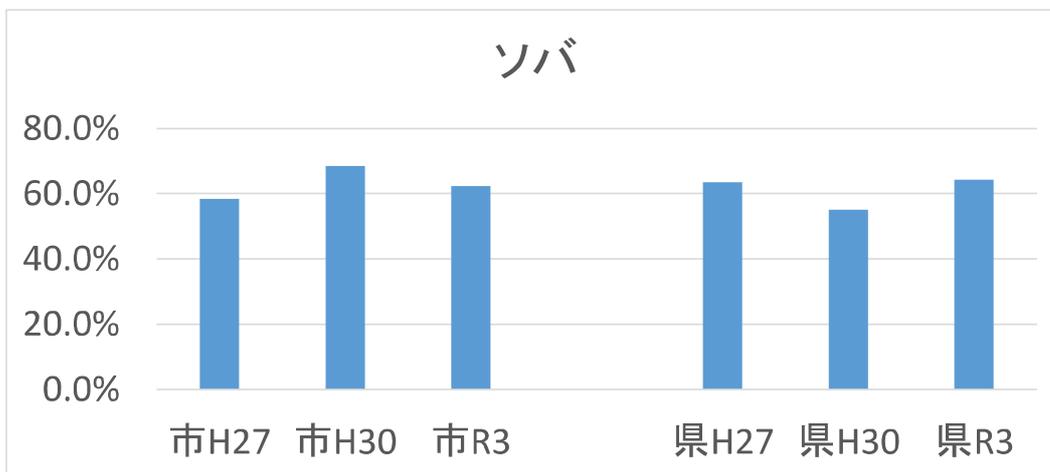
●小麦（除去根拠に食物負荷試験や症状の既往を含まない割合：小中学生合計）

	さいたま市	埼玉県 (さいたま市除く)
H27	63.0%	67.6%
H30	71.5%	44.7%
R3	22.1%	34.0%



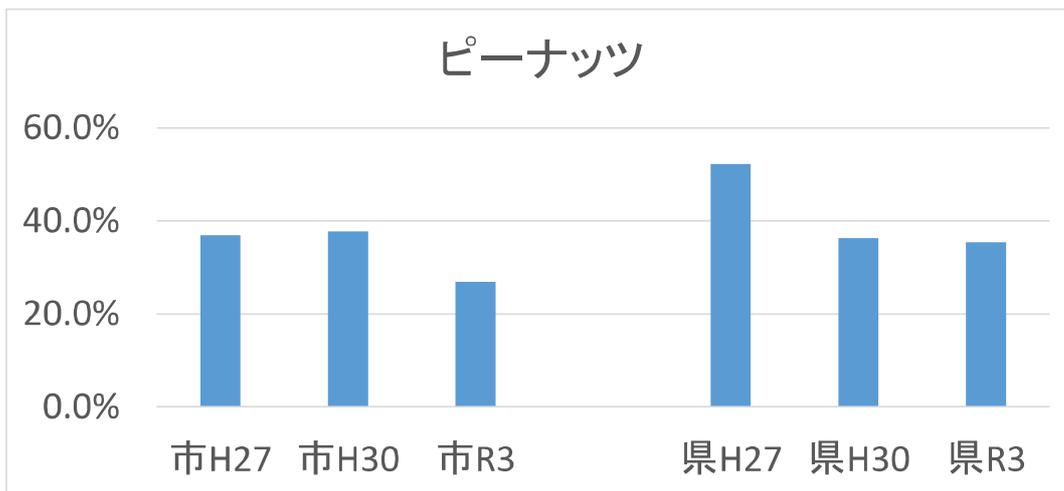
●ソバ（除去根拠に食物負荷試験や症状の既往を含まない割合：小中学生合計）

	さいたま市	埼玉県 (さいたま市除く)
H27	58.4%	63.5%
H30	68.4%	55.1%
R3	62.2%	64.2%



●ピーナッツ（除去根拠に食物負荷試験や症状の既往を含まない割合：小中学生合計）

	さいたま市	埼玉県 (さいたま市除く)
H27	36.9%	52.2%
H30	37.7%	36.3%
R3	26.9%	35.4%



●果物類（除去根拠に食物負荷試験や症状の既往を含まない割合：小中学生合計）

	さいたま市	埼玉県 (さいたま市除く)
H27	31.3%	38.4%
H30	30.7%	19.0%
R3	11.4%	15.9%

